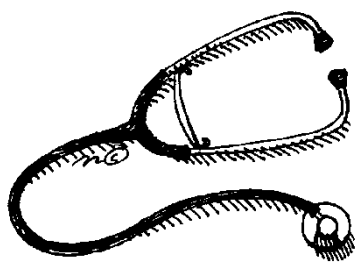


# 国際感染症コース


(旧 人道支援コース)



Edu@atorClips.com

<p>診療責任者</p>	<p>足立拓也（感染症内科医長） 日本内科学会認定内科医・総合内科専門医・指導医 日本感染症学会認定感染症専門医・指導医・評議員</p>
<p>ねらい</p>	<p>感染症アウトブレイク、自然災害、難民支援などの国際的な人道危機において、切実に医療を求める人々に対して適切な医療を提供できる、国内ではいまだ数少ない専門性を持った臨床医の育成を目指す。 かつ、実際の現地派遣を通して、困難に直撃された人々の健康回復、および健全な社会の復興に貢献することを目指す。</p>
<p>到達目標</p>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 個別の患者に適切な医療を提供するための、問診、身体診察、診断、患者への説明、治療、記録といった、基本的臨床スキルを実践できる</li> <li>2. 多様な言語や文化背景から成る多職種チームの一員となり、チームの目標に貢献できる</li> <li>3. 流動的な状況や、十分な物的・人的資源が入手できない環境であっても、制約下で状況に適応して働き、結果を出すことができる</li> <li>4. 日本では報道されない人道危機が、現地の人々の生命、家族、社会のあり方に及ぼした影響について、自分の目を見た事実を、自分の言葉で報告できる</li> </ol>
<p>活動概要</p>	<p><b>国内診療：</b>感染症内科、または他の診療科で、急性疾患・重症患者の初期対応を含む日常診療を行う</p> <p><b>海外研修：</b>人道支援に定評のある海外の教育機関で、途上国で医療を実践するための基本的知識とスキルを学ぶ</p> <p><b>海外派遣：</b>国際人道支援 NGO に登録し、人道危機の性質と各自の専門分野に応じて、現地で診療活動を行う（1～6 か月の範囲を想定）</p>
<p>待遇</p>	<p><b>国内診療：</b>公社職員（非常勤）</p> <p><b>海外研修：</b>渡航費・滞在費の支援あり（全研修期間を通じて3か月以内）</p> <p><b>海外派遣：</b>派遣手当や渡航費は、各 NGO の規定による</p>
<p>海外研修先・派遣先候補</p>	<p><b>海外研修：</b>リバプール熱帯医学大学院（Liverpool School of Tropical Medicine）など</p> <p><b>海外派遣：</b>国境なき医師団（Médecins Sans Frontières）、世界保健機関（WHO）など</p>
<p>契約期間</p>	<p>3年間。国内診療・海外研修の期間は、公社との雇用契約にもとづき給与が支払われます。海外派遣の機会は積極的に活用していただきますが、この際、当院との雇用は休職扱いとなり、海外から帰国した時点で新たに勤務を再開します。</p>
<p>留意事項</p>	<p>当院職員としての採用が、海外研修や海外派遣を自動的に保証するものではありません。各自で出願して、海外研修先や海外派遣先を決めていただきます。</p>

# HUMANITARIAN AID

<p>活動計画（例）</p>	<table border="1"> <tr> <td data-bbox="400 293 544 367">1 年目</td> <td data-bbox="544 293 1257 367">感染症内科（または他の診療科）</td> <td data-bbox="1257 293 1511 367">海外教育機関 DTMH 課程*</td> </tr> <tr> <td data-bbox="400 400 544 474">2 年目</td> <td data-bbox="544 400 1018 474">感染症内科</td> <td data-bbox="1018 400 1511 474">人道支援 NGO* フィールド派遣</td> </tr> <tr> <td data-bbox="400 508 544 582">3 年目</td> <td data-bbox="544 508 1018 582">感染症内科</td> <td data-bbox="1018 508 1511 582">人道支援 NGO* フィールド派遣</td> </tr> </table> <p>* 海外研修先や NGO の選択は任意による</p>	1 年目	感染症内科（または他の診療科）	海外教育機関 DTMH 課程*	2 年目	感染症内科	人道支援 NGO* フィールド派遣	3 年目	感染症内科	人道支援 NGO* フィールド派遣
1 年目	感染症内科（または他の診療科）	海外教育機関 DTMH 課程*								
2 年目	感染症内科	人道支援 NGO* フィールド派遣								
3 年目	感染症内科	人道支援 NGO* フィールド派遣								
<p>目標とする 専門医資格</p>	<p>総合内科専門医、感染症専門医など、国内の専門医資格          Diploma in Tropical Medicine and Hygiene（DTMH）          Diploma in Humanitarian Assistance（DHA）          Diploma in Sexual and Reproductive Health in Low Resource Areas（DSRH）など</p>									
<p>応募資格</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 心身ともに健康であること</li> <li>● 人道支援の広いコミュニティの一員となり、人道支援活動に参加し、後進育成に貢献する、明確な意思があること</li> <li>● 日本の医師免許を有すること</li> <li>● 初期臨床研修および後期研修を修了しているか、修了見込みであること。または、それに相当する臨床経験を有すること（専門医資格など）</li> <li>● 留学可能な TOEFL や IELTS の点数を、採用日までに取得する意思があること</li> </ul>									
<p>応募手続</p>	<p>豊島病院「クリニカル・フェローの募集」のページをご参照ください。 （更新予定）</p>									
<p>選考日程</p>	<p>見学随時 / 応募締切 10 月〇〇日必着 / 選考 11 月 2 日（予定）</p>									
<p>問い合わせ</p>	<p>感染症内科 足立拓也 takuya_adachi（アットマーク）tokyo-hmt.jp</p>									
<p>診療責任者より ひとこと</p>  <p>医長 足立拓也</p>	<p>困難な状況下で切実に医療を求める人々に対して、自分から行動を起こして、医療を提供できるようになりたい医師を募集します。 以下の人材は、採用に際して特に評価します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 女性や子どもに丁寧に対応できる方</li> <li>● 途上国経験者</li> <li>● 英語、フランス語、スペイン語、アラビア語などの外国語を話せる方</li> </ul> <p>人道危機の現場で何が起きているのか、日本に常在しない疾患を含め、本物の患者診療を通して、本物の経験を積んでいただきます。また、国外にも人脈をつくり、英語で（他の言語でもよい）仕事ができるスキルを習得することを奨励します。このプログラムを、将来のキャリア形成の足掛かりにしてください。</p> <p>優れたロールモデルに出会い、スケールは大きく、かつ細やかな配慮のできる職業人に育っていただけるよう、願っています。応募をお待ちしています。</p>									